

2021年度「平和への思い」発信・交流・継承事業 平和学習教材 学習計画指導案

1. 授業概要

- ・授業テーマ：「長崎原爆」
- ・使用教材：2021年「平和への思い」発信・交流・継承事業 平和学習教材
- ・対象学年：小・中学生

2. 本時の学習のねらい

沖縄以外の戦争の歴史に関して、長崎原爆の概要について学ぶ。

生徒向け：「長崎原爆くについて知ろう！」

3. 本時の学習過程

	<内容>	<ねらい>
(1) 導入		
1分	本時の目標を確認（めあて）	長崎原爆について学ぶということを提示することで、授業の目的を明確化する。
4分	長崎に関して知っていることを挙げる	原爆が落とされた長崎に関して、現在の姿や原爆以外の側面を知ってもらう。
(2) 講義・グループワーク		
25分	パワポ・動画を使った講義 (ワークシートを活用する)	長崎原爆の実態・詳細を学習する。また生徒に発言してもらう場面を設けることで、ただ説明を聞くだけの講義にならぬようにする。
(3) まとめ		
5分	ワークシートを用いた感想記入	授業を通して感じたことを言語化し、文字に起こすことで、生徒の記憶に残るものとする。
10分	感想の共有	それぞれが感じたことを共有することで、自身の考え以外の想いに触れる。

<本時の学習過程（詳細）>

（１）導入（５分）※パワポ資料

内訳：１分－目標確認

４分－長崎に関して知っていることを挙げる

①めあてを提示することで授業の目的を明確化する。また、長崎に関して知っていることを挙げてもらったり、スライド上に載せているイラストを当ててもらおうことで、これから学ぶ長崎に関して原爆以外の側面を知ってもらう。

例：長崎名物、長崎の観光地、沖縄との共通点（米軍基地）

②指導上の注意点

イラストで理解しがたいものは ICT 機器等を利用して実際の写真を提示する。時間がない場合は後日提示する。

（２）講義・グループ活動（計 25 分）※準備物：パワポ資料、ワークシート

①パワポを使った講義（約 23 分）

長崎原爆の概要について説明し、大まかな内容を知ってもらう。教師が一方的に説明するだけの授業にならぬよう、生徒の発言も促す。また、分からない部分がないか随時確認しながら授業を進める。生徒には気づいたことなどを適宜ワークシートの気づき欄に記入してもらう。

②指導上の注意点：

講義中、生徒の発言を求める機会を設けているので、一方的な説明のみの授業にならないように配慮する。

（３）まとめ（計 15 分 ）※準備物：ワークシート

①感想記入（５分）

ワークシートの感想記入欄に授業の感想を書いてもらう。生徒が感じたことを記入してもらうことで、より記憶に残るものとする。（言語化）

※注意

感想であるため、正解も間違いもない。また、ワークシートの全ての行を埋めなくともよい。自由に思ったことを書いてもらう。

②共有（10分）

4人1班程度になり、感想の共有をしてもらう。その後、班の代表、またはクラスの代表数名が全体へ向けて感想をシェアする。（時間によって調整）

4. 準備物等

講義用パワーポイント資料、ワークシート（穴埋め・感想や気づき・追加資料）、投影用プロジェクター・スクリーンなど

ワークシートに関して

- ・講義用（概要のみ穴埋め式）、感想・気づき用

5. 事後学習に関しての提案

- ・ワークシートに追加資料を提示しているので、それらを活用してさらに深く学んでもらう。
- ・朝読書の時間を利用して長崎原爆に関する本や映像を見てもらう。
- ・生徒一人一人に折り紙を配布し、折り鶴を折ってもらう。（その際には大島ミチル作曲「千羽鶴」を紹介）

6. 時間に関して

説明に時間がかかるなどして時間が足りなくなる場合、後半部分にある被爆体験記を一つだけ紹介し、残りは資料配布するなどして調整する。

7. 資料配布に関して

授業内で生徒の発言を求める場面があるため、答えが書いてあるページは配布せず、その他のページを配布する。配布資料にも自由にメモを取っていい旨を伝える。

（例：7～8 ページ 8 ページに 7 ページの説明が書いてあるため、8 ページ目を飛ばして配布する。）